No.81064124

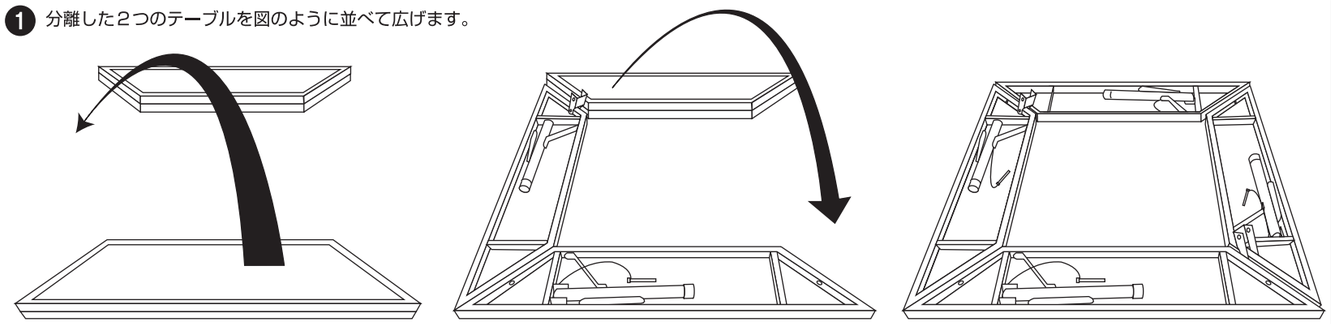
ウッド囲炉裏テーブルEVO

[部品構成表]	テーブル	(1セット)	収納バッグ	(1)

組み立て手順

※組み立て手順通りに行わなければ組み立てる事はできません。ご注意ください

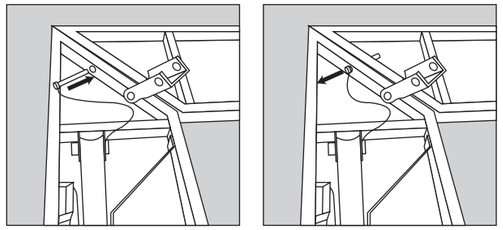
1 分離した2つのテーブルを図のように並べて広げます。



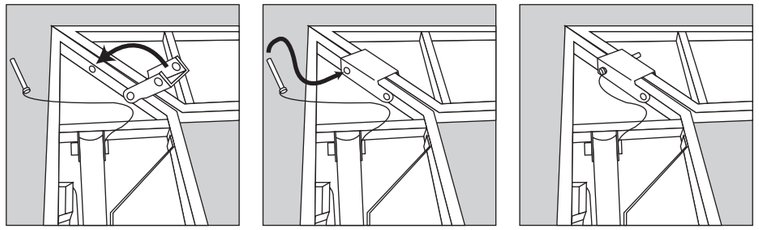
図のように並べて、手前の天板を矢印の方向に広げます　　奥のテーブルも同様に広げます

注意！本品には鋭利な部分がございます。
組み立ての際は、鋭利な部分で怪我をしないように軍手を着用してください。

2 2つのテーブルを連結します。テーブル通しのピンホールと連結カバーのピンホールを合わせ、ホールを貫くようにロックピンを通して連結します。

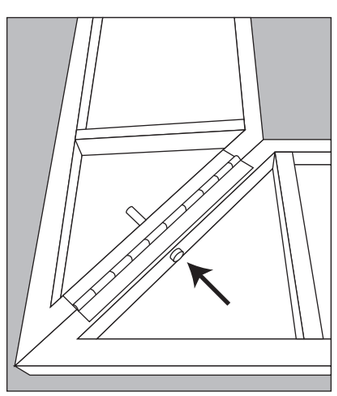


2つのテーブルのピンホールを合わせ、ロックピンを差し込んで位置決めをします。位置があったら再度ピンを抜きます。

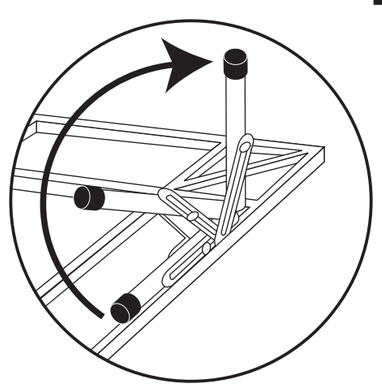


連結カバーを回転させピンホールに被せます。この時、テーブルと連結カバーのピンホールが合っているか確認をしてください。再度ピンを差し込み、反対側まで貫通するように差し込んでください。

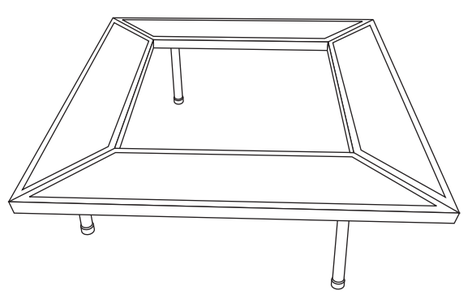
3 ヒンジ部分もロックピンを差し込んで固定します。



4 折りたたまれた4本の脚を引き起こします。
カチッ！と音がしてロックがかかるまで、しっかりと引き起こしてください。



5 脚を起こしたらテーブルを反転させ自立させます。
注意！　反転の際、テーブルが折れる事もあるので、指等を挟まないようにご注意ください。
また、ロックピンが抜け、連結が外れる可能性もありますので、くれぐれもご注意ください。



6 別売の「ピラミッドグリル」をお持ちの方は、テーブルの開口部の中央にセットしてください。
また、クワトロポッドは、開口部四隅の角に合わせてセットしてください。

注意！　ピラミッドグリルのMサイズ等、テーブル面より低いグリルは使用できません。
注意！　必ず開口部の中央にセットしてください。

7 もちろん一般的なバーベキューグリルや焚き火台もセットして使えます。

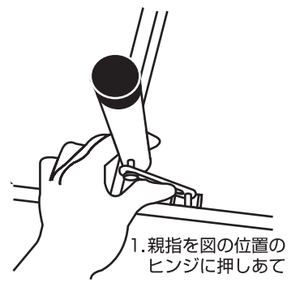
注意！テーブルにセットできるグリルは本体サイズが開口部の大きさ(幅62×奥行62cm)以下のものに限ります。また、テーブル開口部の縁まで4cm以上の間隔がとれるグリルに限ります。
尚、テーブル面より低いグリルは使用できません。テーブル面が焦げる恐れがあります。

使用上の注意

禁止！　風が噴いている時は絶対に焚き火は行わないようにしてください。炎があおられた際非常に危険です。
禁止！　テーブルとグリルの間の隙間に足を入れたり入り込んだりする事は絶対にお止め下さい。
禁止！　テーブルに手をついて前方(グリル側)に身を乗り出す行為は大変危険ですので絶対にお止め下さい。
得にお子さまには十分にご注意下さい。
禁止！　本品は「ピラミッドグリル」や市販のバーベキューグリルとの併用でのみ使用を想定し開発しています。
直火によるバーベキューや焚き火等では絶対に使用しないで下さい。
禁止！　着火後にテーブルやグリルの移動は行わないでください。
禁止！　着火後は、炭がはぜたり火の粉などが跳ぶ場合がありますので、顔などを近付けたりのぞき込む事はお止めください。
禁止！　使用中のグリルは素手で触らないでください。
警告！　使用中長時間熱が加わる事で、グリル下の地面が変色したり、焦げる事があります。
必ず変色等してもよい地面を選んで設置するようにしてください。
警告！　焚き火を行う際は事故防止のために、必ず消火用の水をバケツ等に入れて側に御用意下さい。
警告！　ご使用の前に必ずパーツ類の破損、溶接外れ等が無いかご確認下さい。
破損が見つかった場合はご使用にならないようお願い致します。
警告！　テーブルにセットできるグリルは本体サイズが開口部の大きさ(幅62×奥行62cm)以下のものに限ります。
また、テーブル開口部の縁まで4cm以上の間隔がとれるグリルに限ります。
尚、テーブル面より低いグリルは使用できません。テーブル面が焦げる恐れがあります。
警告！　テーブルの下に少しでも潜り込むような形状、大きさのグリルは使用しないで下さい。
警告！　テーブルにグリルが触れる状態では絶対に使用しないでください。必ず開口部の中央にセットしてください。
警告！　組み立ては説明書をよく読み、正しく行ってください。組み立てが不十分だと転倒する恐れがあります。
警告！　分解、組み立て、着火、消火、調理、手入れ、かたづけの際には革手袋などを着用し、やけどや
鋭利な部分でのケガ等に十分ご注意ください。
警告！　消火のために器具に水をかけると急激な温度変化により器具が変形することがあります。
又、高温の水蒸気が発生し火傷の危険にもつながりますのでお止めください。
警告！　洗浄の際は、ゴム手袋を着用し、製品の鋭利な部分でケガをしないように十分ご注意下さい。
注意！　使用中のテーブルはグリルに近い部分が熱くなりますのでご注意ください。
注意！　テーブルには燃え易い材質のものや、耐熱性の低いものは置かないでください。燃える、溶ける、焦げる恐れがあります。
また、金属製のものは熱くなる事がありますので十分ご注意ください。
注意！　焚き火を行う際は燃料の入れ過ぎにご注意ください。入れ過ぎると炎が高く上がり大変危険です。
注意！　キャリーバッグに収納する際はテーブルが完全に冷えてから収納して下さい。

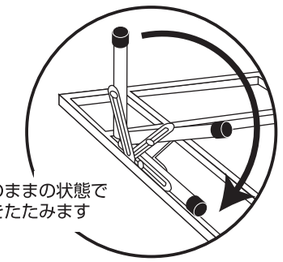
脚のたたみ方

8 脚のたたみ方は、まずロックを解除し、そのまま押し寝かすようにたたみます。



1.親指を図の位置のヒンジに押しあて

2.矢印の方向にヒンジを押し動かすとロックが解除されます



3.そのままの状態で脚をたたみます

注意！折りたたむ際は指を挟まないようにご注意ください